令和５年度

第 56 回　電気工事士技能競技大会
プログラム

開催日　令和５年 11 月 14 日（火）
会　場　東京武道館（足立区綾瀬３－２０－１）

一般社団法人東京電業協会

後　援　経済産業省関東東北産業保安監督部
後　援　国土交通省関東地方整備局
後　援　東京都
後　援　一般社団法人日本電気協会関東支部
後　援　一般社団法人日本電設工業協会
協　賛　一般社団法人東京都電設協会
協　賛　一般社団法人日本電気工事士協会

選　手　宣　誓

我々は、第 56 回電気工事士技能競技大会にのぞみ、

電気工事士としての誇りを持って、日頃培った技能を

十分に発揮し、正々堂々と競技することを誓います。

令和 5 年 11 月 14 日

第 56 回電気工事士技能競技大会

選手一同

第 56 回　電気工事士技能競技大会
大 会 プログラム

1. **選 手 受 付**	7 時 30 分～8 時 30 分
2. **来賓・審査委員・大会役員・委員受付**	8 時 00 分～9 時 00 分
3. **一般見学者受付**	8 時 00 分～
4. **開 会 式**	9 時 05 分

（1）開　　会　　大会事務局長
（2）開会の辞　　大会実行委員長
（3）大会会長挨拶　大会会長
（4）来賓祝辞
（5）選手宣誓
（6）競技課題抽選（課題説明書等に記載の当日選択部分を公開抽選し決定する）

5. **競 技 開 始**	9 時 30 分

（材料確認時間：開始 10 分以内）

※ **審査委員審査**	10 時 30 分～
6. **競 技 終 了**	12 時 40 分
7. **採点委員採点・集計**	12 時 40 分～
8. **入賞者選考**	15 時 00 分～
9. **表 彰 式**	15 時 30 分～16 時 10 分

（1）審査講評　　大会審査委員長
（2）賞状授与
（3）閉会の辞　　大会実行副委員長

（注）開会式以降は、当日の進行により予定時刻の繰り上げまたは繰り下げを行うことがありますので、当日のアナウンスにご注意ください。

表彰及び表彰式

成績優秀者には技能賞を授与します。

なお、技能賞の中で特に優れた８名に対しては、下記の特別賞が授与されます。

特別賞	経済産業省関東東北産業保安監督部長賞	１名
特別賞	国土交通省関東地方整備局長賞	１名
特別賞	東京都知事賞	１名
特別賞	一般社団法人東京電業協会会長賞	１名
特別賞	一般社団法人日本電気協会関東支部会長賞	１名
特別賞	一般社団法人日本電設工業協会会長賞	１名
特別賞	一般社団法人東京都電設協会会長賞	１名
特別賞	一般社団法人日本電気工事士協会会長賞	１名

また、優秀な成績をおさめた女性選手１名に女性活躍推進特別賞を授与します。

（ただし、過去に女性活躍推進特別賞を受賞された方及び上記特別賞受賞者を除きます）

※技能賞受賞者以外の方には努力賞を授与します。

チャレンジコーナーのご案内

チャレンジコーナーでは、高等学校、専門学校等の学生・生徒の方々など、電気関係の勉強をしている方々が、競技課題の金属管部分を PF 管に替え、二人一組で課題に挑戦します。

チャレンジコーナーに参加された皆様には「チャレンジ賞」が、また、その中で特に優れた１組２名の方には「チャレンジ優秀賞」が授与されます。

イベントのご案内

イベントにはどなたでも参加できます。

なお、イベントの内容は変更することがあります。

〔場所〕イベントコーナー（1 階競技会場内北側）

① 配線ゲーム

② 安全 VR 体験（協力：㈱積木製作）

審 査 委 員

（敬称略）

審査委員長	和田　成弘	経済産業省関東東北産業保安監督部企画調整官
審査委員	小原　隆平	経済産業省関東東北産業保安監督部電力安全課技術係長
審査委員	小谷　寛之	国土交通省関東地方整備局営繕部設備技術対策官
審査委員	渡邊　　昇	東京都環境局環境改善部環境保安課長
審査委員	川鍋　　昇	一般社団法人日本電気協会関東支部総務ｸﾞﾙｰﾌﾟﾏﾈｰｼﾞｬｰ
審査委員	采野　邦彦	一般社団法人日本電設工業協会技術・安全委員会委員
審査委員	池田　憲治	一般社団法人東京都電設協会会長
審査委員	牧野　光洋	一般社団法人日本電気工事士協会会長

大 会 役 員

（令和５年９月１日現在　敬称略）

大会会長	門間　俊道	一般社団法人東京電業協会会長
大会副会長	飯田　暢浩	一般社団法人東京電業協会副会長
大会副会長	土屋　忠巳	一般社団法人東京電業協会副会長
大会副会長	山本　隆洋	一般社団法人東京電業協会副会長
大会副会長	富井　弘之	一般社団法人東京電業協会副会長
大会副会長	池田　憲治	一般社団法人東京都電設協会会長
大会副会長	牧野　光洋	一般社団法人日本電気工事士協会会長

大会委員　林　　弘之	大会委員　宇田川元秀
大会委員　小島　兼隆	大会委員　鈴木　　建
大会委員　中山　俊樹	大会委員　大前　幸雄
大会委員　田邊　昭治	大会委員　山崎　重光
大会委員　長田　　豊	大会委員　三村　一博
大会委員　加藤　剛志	大会委員　畑中　勝美
大会委員　舩橋　哲也	大会委員　長江　洋一
大会委員　梶川　裕司	大会委員　小島　茂広
大会委員　岡村　峰督	大会委員　藤井　直樹
大会委員　西山　　功	大会委員　佐俣　雄治
大会委員　栗原　祥浩	大会委員　圓尾　　肇
大会委員　白地　英昭	大会委員　今野　智宏
大会委員　佐藤　謙一	

実 行 委 員

（令和５年９月１日現在　敬称略）

（実行委員会）

委 員 長　加藤　剛志
副委員長　長江　洋一
副委員長　畑中　勝美
委　員　香川　立人
委　員　小泉　　英
委　員　齋藤　憲一
委　員　柴田　静彦
委　員　知々田光雄
委　員　藤﨑　紀幸
委　員　薮　　信一

（課題作成委員会）

委 員 長　小泉　　英
副委員長　杉田　邦夫
委　員　池田　隆一
委　員　佐藤　正明
委　員　知々田光雄
委　員　西野　剛志
委　員　長谷部正彦
委　員　益満　直人
委　員　八木岡真一

（イベント委員会）

委員長　柴田　静彦
委　員　上垣　知也
委　員　上野　英雄
委　員　小林　　聡
委　員　齋藤　憲一
委　員　坂本　賢一
委　員　萩原　　稔
委　員　水野　淳司
委　員　本橋　　七

（渉外関係協力）

経営労務部会

採点委員会

委 員 長　小泉　　英
副委員長　杉田　邦夫
委　員　池田　隆一
委　員　佐藤　正明
委　員　島崎　　真
委　員　知々田光雄
委　員　西野　剛志
委　員　長谷部正彦
委　員　藤﨑　徳弘
委　員　益満　直人
委　員　八木岡真一

大会事務局

大会事務局長　久原　京子（一般社団法人東京電業協会専務理事）

審 査 の 概 要

1. 審査委員及び採点委員

審査委員を関係官公庁及び団体に、採点委員を協会関係者に委嘱する。

2. 表彰者の選考方法

審査委員の評価及び採点委員の採点に基づいて選考する。

3. 採　点　方　法

下記の採点項目にしたがって採点する。

(1) **法令等の遵守**　関係法令等に適合の有無を採点する。

① 配管の施工状況

管とボックスとの接続、支持方法、曲げ半径、加工の状態等

② ケーブルの施工状況

支持方法、曲げ半径、外装端の処理等

③ 電線の接続

電線相互の接続状態及び電線と器具との接続状態等

(2) **基　本　事　項**　競技課題との相違の有無を採点する。

① 誤結線

説明書のとおり作動しないもの

② 題意相違

施工図又は説明書のとおり施工していないもの

③ 取り付け寸法

施工図に指示した寸法との誤差が多いもの

(3) **一　般　事　項**　競技規則及び選手心得の順守の有無を採点する。

① 電気工事士免状及び競技課題の持参の有無、遅刻の有無

② 指示した携行工具等の持参の有無、指示した服装との相違

③ その他競技規則及び選手心得と相違するもの

(4) **作　業　時　間**　作業時間について採点する。

① 1 時間 40 分以内に作業を完了した場合は、一律に加点する。

② 1 時間 40 分を超え 3 時間 10 分以内に作業を完了した場合は、その時間に応じて加点する。

③ 採点が同一の場合は、作業時間の短いものを優位とする。

(5) **出　来　栄　え**　審査委員が評価する。

(6) **未　　落**　指定した競技時間までに、完成しないものを未落とする。

① ボックス、配線器具、配線用遮断器等の取り付け未了があるもの

② 電線の接続未了があるもの

③ サドル・ステープル等が全く取り付けられていないもの

競 技 規 則

1. 服装など

（1）**服　装**：屋内配線工事の現場作業にふさわしい常用の作業服、電気用安全帽及び安全靴を着用する。

（2）**携帯品**：電気工事士技能競技大会参加票、電気工事士免状、第一種試験合格のみの方は認定電気工事従事者認定証、競技規則、選手心得、競技課題、その他常用の筆記具など。

（3）**携行工具など**：常用の腰道具のほかに、パイプ万力、ベンダ、リングスリーブ用圧着接続工具、回路計または導通試験器、計測器（下げ振り、治具等を含む）、防塵メガネ、作業床面の汚損などを防止するシート、掃除道具（手ぼうきなど）、その他必要と思うものを参加選手各自で準備する。

〔注意事項〕

①防塵メガネ：電動カッター（チップソーに限る）使用時には危険防止のため必ず使用すること。なお、防塵メガネは正面及び側面（上下左右）から防護されているものに限る。

②治具用のパネルは Ａ３サイズを超えるものを禁止する。なお、Ａ３サイズ以下のパネルであっても作業板上に複数枚同時に貼ることはできない。

2. 競　　技

（1）競技は、競技規則、選手心得及び競技課題に基づき、指定された作業板（概ね 1,800 ㎜×1,800 ㎜）の上に屋内配線工事を施工して、その技術の優劣を競うものとする。

（2）競技時間は材料確認を含め 3 時間 10 分とする。

（3）競技に使用する材料は、競技課題の材料表に示すものを主催者側で準備する。

（4）主催者側で準備した材料以外の材料を使用してはならない。

（5）競技中に、材料の追加、交換などの必要が生じた場合は、係員に申し出ることができる。

（6）競技場には、作業用電源の準備はない。電池式電動工具の使用は差し支えない。

（7）競技開始後は、工具などを追加して持ち込んではならない。やむをえず追加しなければならない場合は、係員に申し出ることができる。

（8）競技中に、工具などを他の選手との間で、貸し借りしてはならない。

（9）競技開始後は各自の作業板の前から離れてはならない。離れる必要が生じた場合（トイレ等）は係員に申し出て、その指示によって行動する。

(10) 競技中に、他に迷惑の及ぶような行動があってはならない。このような行為があった場合は、状況によっては退場を命じられることがある。

〔注意事項〕

作業床面などを傷つけたり汚したりしないように、特に注意すること。電線管の加工などは、備え付けのベニヤ板の上で行うこと。

選 手 心 得

1. 選手受付：7 時 30 分から 8 時 30 分まで

（1）選手受付に、電気工事士技能競技大会参加票及び電気工事士免状を提示する。

（2）ゼッケン及び昼食券などを受け取る。

（3）係員の指示を受けて、携行工具などをゼッケンと同じ番号の作業板の前に持ち込む。

（4）携行工具などをひろげて、作業準備を行い、開会式開始の案内があるまで待機する。

2. 開 会 式：9 時 05 分から

係員の指示によって、開会式に臨む（腰道具は不要、ヘルメットは要）。

3. 競技開始及び材料確認： 9 時 30 分から

（1）開会式が終わったら、係員の指示に従い、各自の作業板の位置につく。

（2）係員の合図（笛）によって競技を開始する。

（3）競技開始後、作業板の前に置いてある材料を競技課題の材料表と照合して、数量の不足、不良品などのないことを確認する。

注意：① サドル、ステープル、木ねじ、リングスリーブなどは余分に支給してある。

② 数量の不足、不良品などがあったら係員に申し出る。

③ 競技開始後 10 分を超えてからの材料の追加、交換は減点の対象となるので確認は念入りに行うこと。

4. 競技終了

（1）指定時刻前に作業を完了した場合、係員に申し出て終了時刻の確認を受け、その後、他の作業中の者に迷惑にならないように静かに清掃し、機材などを携帯し退場する。

（2）競技開始 3 時間 10 分後の終了の合図（笛）があったら、作業中の者は直ちに競技を終了し作業板から離れる。以後すみやかに清掃し、機材などを携帯し退場する。

注意：①作業終了後は、作業板に手を触れてはならない。

②最後の片付けに必要な工具を除いた機材の搬出は今回、時間を指定しない（自由）。

5. 待　　機

競技終了後は、15 時 00 分まで自由行動とし、表彰式開始前に会場に集合すること。

6. 表 彰 式

係員の指示に従って、作業時の服装で表彰式に臨む（腰道具は不要、ヘルメットは要）。

7. 作業板上の作品の取り外し

表彰式が終わったら、係員の指示に従って各自の作業板上の作品を取り外して、作業板の前にまとめて置き、その後随意に退場する。取り外した材料は、各自自由に持ち帰ってよい。

8. アンケートの提出

最後に受付へアンケートを提出し解散する。

競技課題　説明書

1.概　　要　事務所の電灯・コンセント回路において、3 箇所の照明（イ・ロ・ハ）をリモコンスイッチ 3 個用を用いて集中制御し、2 箇所の照明（ニ）を 3 路スイッチ 2 箇所で点滅できるものとする。また、接地付きコンセントを 2 箇所設置し常時充電とする。

2.競技課題　別紙「競技規則」に従い、「施工図」に示す工事を行う。

3.電　　源　単相 2 線式 100V（接地線付き）とし、次の 3 台の配線用遮断器に分岐する。
・№1…照明（イ・ロ・ハ）及びコンセント用回路
・№2…リモコントランス（リモコンリレー、リモコンスイッチ）用回路
・№3…照明（ニ）及びコンセント用回路

4.分電盤等　木板 1 に配線用遮断器 3 台、端子台(接地端子)1 台を取り付け、分電盤とする。
配線用遮断器間亘り線は EEF ケーブル 2.0mm－3C の絶縁電線を使用する。
木板 2 にリモコントランス、リモコンリレーを取り付け、リモコン盤とする。

5.配線工事　ア．電源引き込み配線は、作業板上端よりケーブルシースを剥いて 100㎜ 程度余長を取り、絶縁被覆を 12㎜ 程度剥ぎ取っておく。
イ．照明の点滅等に関しては、展開接続図による
ウ．照明及びコンセント、リモコントランスへの接地側電線は白色を使用し、器具の極性を考慮して接続する。
エ．電源から最初に入る 3 路スイッチとコンセント、リモコンリレー（主回路側）、リモコントランスへ至る非接地側電線は黒色を使用する(リモコンスイッチは除く)。
オ．上記の電源から最初に入る 3 路スイッチへの非接地側電線の配線は、パターンＡ「埋込 3 路スイッチ側に配線」とするか、パターンＢ「露出 3 路スイッチ側に配線」とするか、を当日公開抽選により決定する（全選手同一課題)。
　なお、3 路スイッチのかえりは赤線を使用すること。
カ．2 つの照明（ニ）への配線は施工図に示すように障害物（一例）より 50 ㎜離れるように配線する。なお、障害物の形・大きさは補足資料 1 に示すパターンＣとパターンＤがあり、どちらで施工するかを当日公開抽選により決定する（全選手同一課題)。 障害物（三角形）は決定した寸法で各自チョークを用いて描く。

6.配管工事　配管の交差部分は施工図に示すとおり縦側が横側を飛び越えることとする。

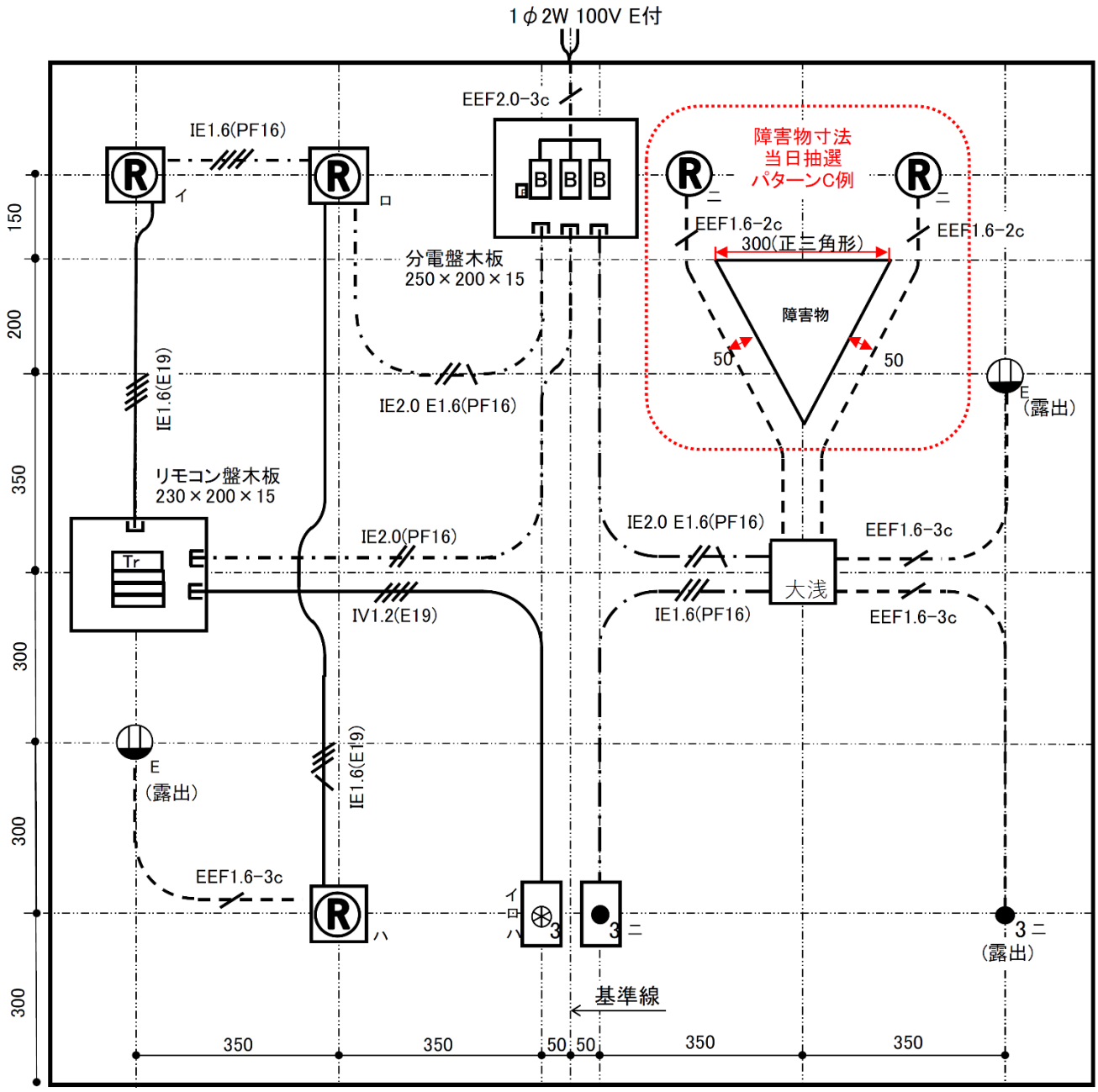
7.接地工事　接地工事は引き込み線から分電盤端子台を経由して各コンセントまでを緑線で敷設し、その他は省略する（端子台に亘り線を使う場合の緑線の種別は問わない)。

8.電線接続　ボックス内の相互接続はリングスリーブによる圧着接続とし、絶縁キャップを取り付ける。なお、ボックス内を経由する電線は素通しでもよい。

9.指定寸法　ア．作業板のほぼ中央に下げ振り等を用いて基準墨を出す。
イ．縦墨（寄り寸法）は基準墨を基準とし、横墨（高さ寸法）は作業板の左下端の一点を基準とする。
ウ．すべての指定寸法墨は白色以外のチョークを使用し、完成後消さずに全部残す（ただし、木板内を除く)。

10.完　　成　ア．作業完了後、電源引き込みケーブル（EEF2.0-3C）に別途支給する「試験用差込コネクタ・プラグ付きコード」を接続※したのち、上部仮設で用意してある試験用電源（単相 100V コンセント）にそのプラグを接続し、点灯等試験を行い適正を確認する。　※2 個の差込コネクタ(WAGO「WFR-3」)の一方にＬ相、片方にＮ相を差込む。
イ．すべての照明を点灯させた状態で完成とする（挙手完了報告)。

競技課題　施工図

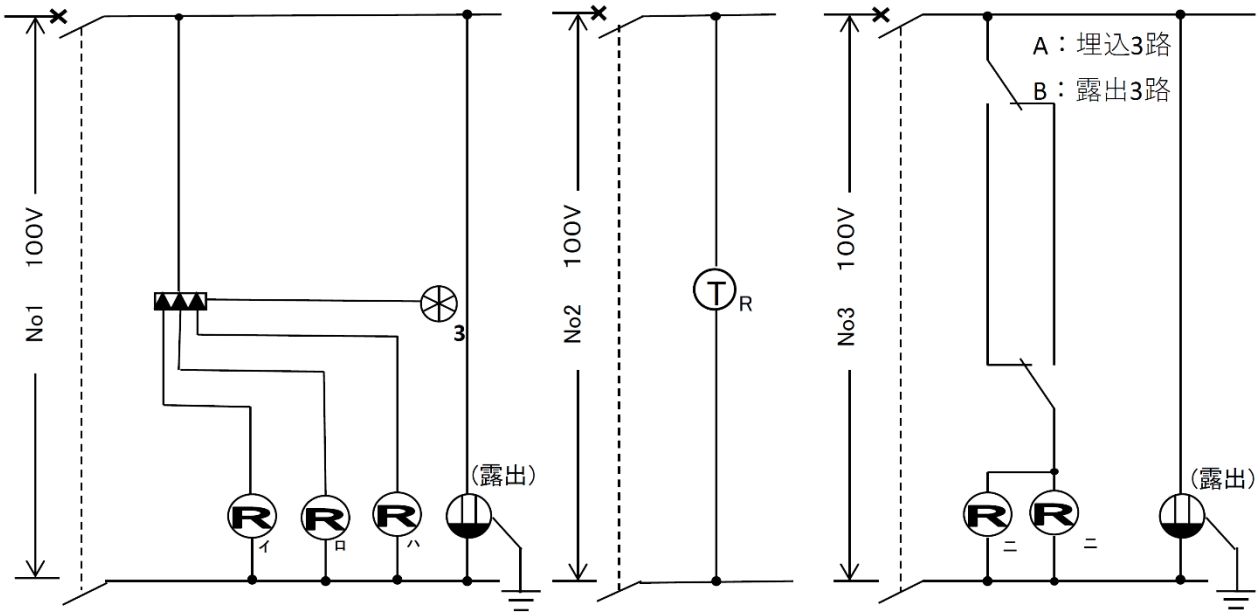


凡　例

記　号	名　称	記　号	名　称
――――	金属管(E19)	R	ランプレセプタクル
―・―・―	合成樹脂製可とう電線管(PF16)	B	安全ブレーカー
- - - - - -	ケーブル(EEF)	E	端子台2P20A(接地線用)
●3	埋込3路スイッチ　(露出)露出3路スイッチ	Tr	リモコントランス　TR
⊛3	リモコンセレクタスイッチ(3ヶ用)		リモコンリレー　3
E露出	露出接地極付きコンセント	大浅	大型四角浅型，C19三ツ穴　アウトレットボックス
R	引掛埋込ローゼット(中四角浅型アウトレット含む 引掛レセップキャップ(LED取付)		

競技課題　補足資料１

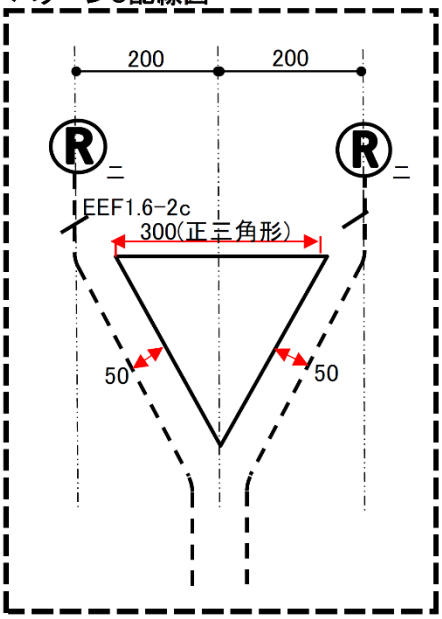
展開接続図



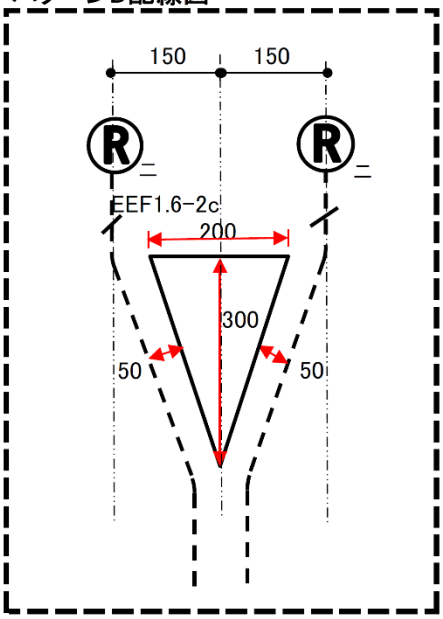
★当日抽選

1. 電源から最初に入る3路スイッチへの非接地側電線の配線は当日抽選により、パターンA(埋込3路スイッチ側)またはパターンB(露出3路スイッチ側)のどちらかに決定する
2. 施工図上の赤枠内ランプレセプタクルへの配線工事は当日抽選により、下記のパターンCまたはパターンDの配線図のどちらかに決定する

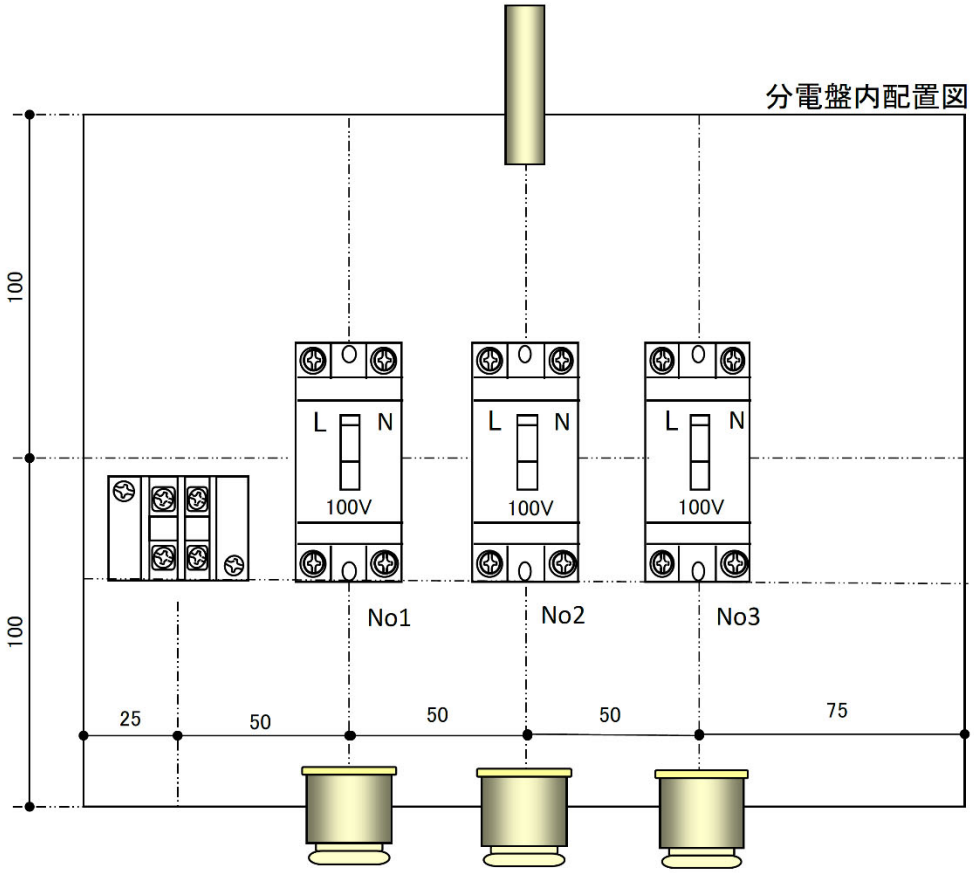
パターンC配線図

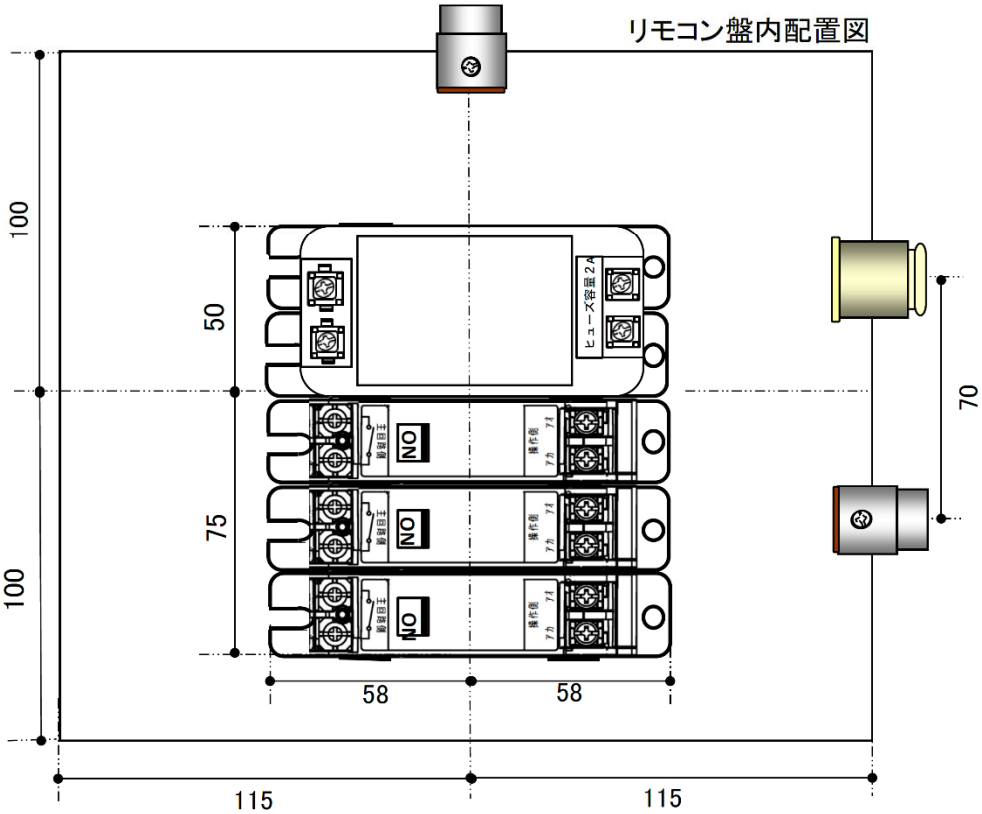


パターンD配線図



競技課題　補足資料 2


分電盤内配置図
100
100
L
N
100V
No1
No2
No3
25
50
50
50
75

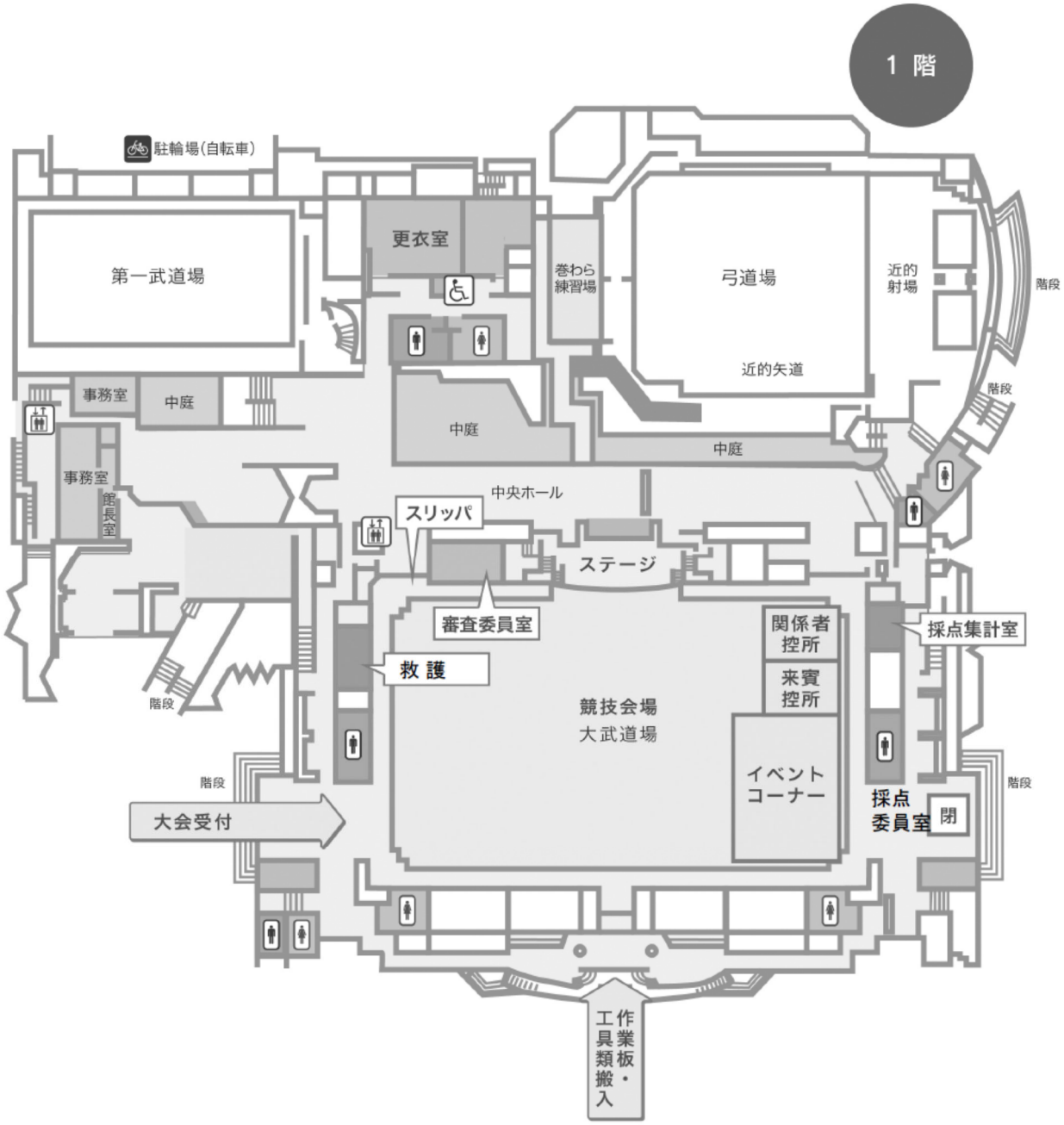

リモコン盤内配置図
100
100
50
75
NO
NO
NO
58
58
115
115
70

競技課題　材料表

番号	品　　名	摘　　要	数量		カタログ番号
1	配線用遮断器(MCCB)	2P1E30AF/20AT　取付ﾋﾞｽ付	3	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　BS1112
2	端子台	2P20A	1	個	ﾓﾉﾀﾛｳ　T10-02PM
3	小形リモコントランス	F型分電盤用　AC100/24V　1.5A	1	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　WR2301
4	リモコンリレー	片切　20A	3	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　WR6161K
5	リモコンセレクタスイッチ	3ｺ用　AC24V　1.5A	1	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　WR8503
6	盤用連接取付板	10P	1/2	枚	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　WR9910
7	連用埋込3路スイッチ	15A　300V	1	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　WN5002
8	露出3路スイッチ	10A　300V	1	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　WS3002W
9	露出接地極付コンセント	2P15A 125V E付	2	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　WK3001W
10	連用器具取付枠		1	枚	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　WN3700
11	引掛埋込ローゼット	6A　125V	3	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　WG6001WK
12	引掛レセップキャップ	1A　125V	3	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　WW3410WK
13	レセプタクル	6A　250V	2	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　WW3402
14	LED電球	100V 0.9W 電球色相当	5	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　LDG1L-G/W
15	IE電線	1.6mm(赤)	11	m	ﾌｼﾞｸﾗ
16	IE電線	1.6mm(白)	4	m	〃
17	IE電線	1.6mm(黒)	7	m	〃
18	IE電線	1.6mm(緑)	6	m	〃
19	IE電線	2.0mm(白)	5	m	〃
20	IE電線	2.0mm(黒)	5	m	〃
21	IV電線	1.2mm(赤)	6	m	〃
22	IV電線	1.2mm(白)	2	m	〃
23	IV電線	1.2mm(青)	0.5	m	〃
24	EEFケーブル	1.6-2C	3	m	富士電線工業
25	EEFケーブル	1.6-3C(黒白赤)	2	m	〃
26	EEFケーブル	1.6-3C(黒白緑)	3	m	〃
27	EEFケーブル	2.0-3C(黒白緑)	1	m	〃
28	ねじなし電線管	E19	1	本	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　DW819K
29	ねじなしコネクタ	E19用	4	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　DS02192
30	ねじなしブッシング	E19管端用	2	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　DS5419
31	プラブッシング	E19用	4	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　DS1719
32	ねじなし電線管用サドル	E19用	12	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　DS1619
33	合成樹脂製可とう電線管(PF管)	PF16	5	m	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　DM316KH
34	PF管用ボックスコネクタ	PF16用	6	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　DMP16K
35	PF管用サドル	PF16用	18	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　DM3916
36	PF管用ブッシング	PF16管端用	4	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　DMP16ZK
37	分電盤用木板	250×200×15mm	1	枚	取付穴4カ所加工済
38	リモコン盤用木板	230×200×15mm	1	枚	取付穴4カ所加工済
39	アウトレットボックス	大型四角浅型(19×3)	1	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　DS38443
40	アウトレットボックス	中型四角浅型(19・25)	3	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　DS3744
41	塗代カバー	中型四角丸穴ｶﾊﾞｰ	3	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　DS4311
42	1コ用スイッチボックス	塗代ｶﾊﾞｰ付	2	個	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　DS4911K
43	リングレジューサ	C25-C19	2	枚	ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ　DS5325K
44	リングスリーブ	小	15	個	
45	リングスリーブ	中	3	個	
46	絶縁キャップ	リングスリーブ小用として	14	個	外山電気　VCL-8
47	絶縁キャップ	リングスリーブ中用として	3	個	ｶﾜｸﾞﾁ　ﾄｰﾒｰｷｬｯﾌﾟ K-大
48	木ネジ(連接取付板用)	3.5×16mm(皿)	6	本	
49	木ネジ(一般用)ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞﾈｼﾞ	3.5×20mm	100	本	
50	木ネジ(木板・端子台用)	3.5×25mm(なべ頭)	12	本	
51	ボディビス	M4×16	12	本	
52	ステープル	No.1 (EEF1.6×2本用)	16	個	
53	ステープル	No.2 (EEF1.6×3本用)	16	個	
54	ステープル	No.3(EEF2.0×3本用)	3	個	
55	ゴムブッシング	19用	4	個	
56	ゴムブッシング	25用	1	個	
57	ナイロン結束バンド	80mm	6	本	ｲﾝｼｭﾛｯｸ AB-80
58	ウエス		1	枚	

会場・見学のご案内

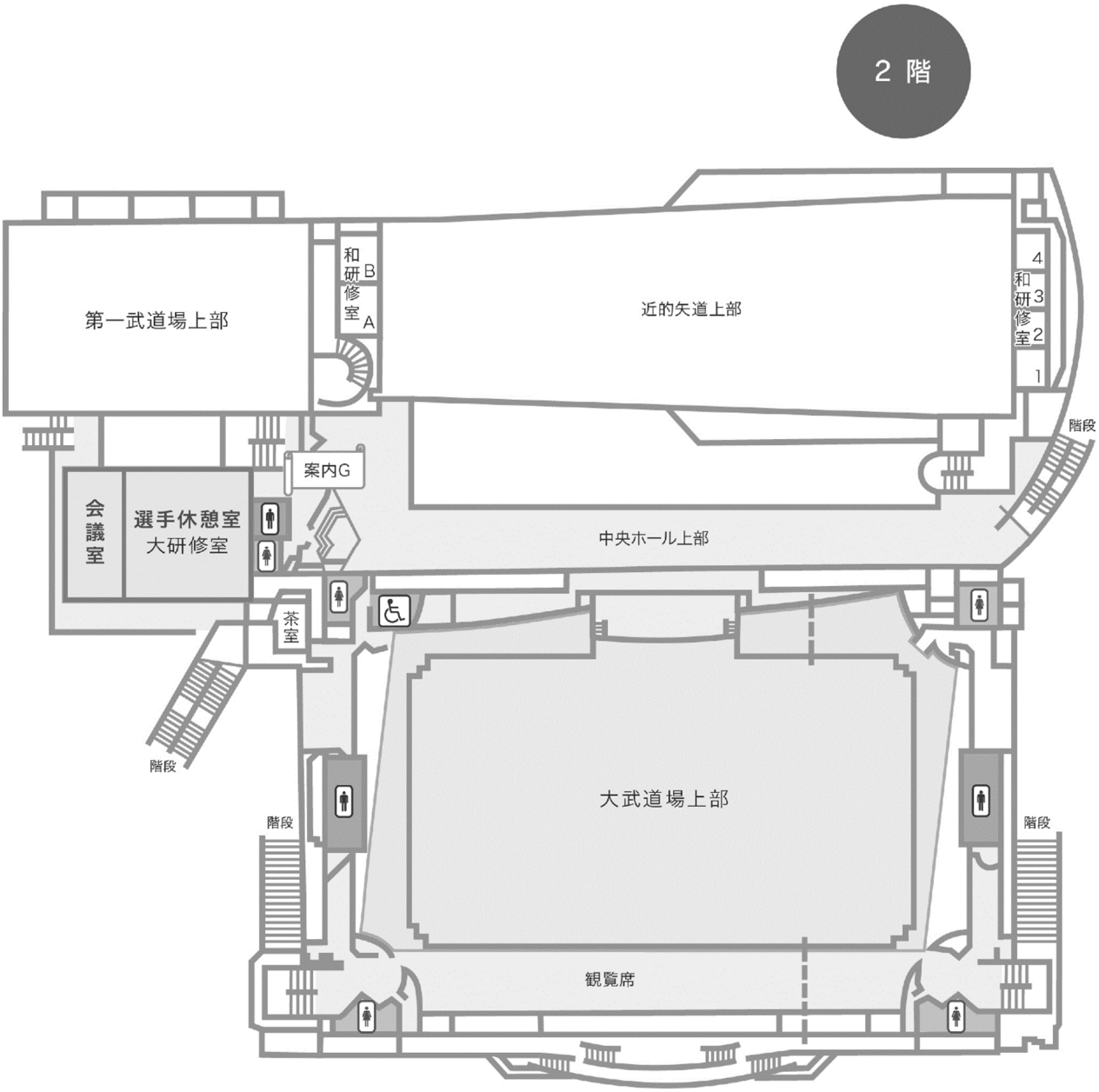
①競技会場には見学用の通路を設けますので自由に見学できます。
（今回は人数制限に伴う「入館証」等はありません）。
②2階観客席は自由席です。
③マスクの着用は個人または会社の判断に委ね、自由としますが、新型コロナウイルス感染症予防のため、次の点にご協力をお願いいたします。
・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の奨励
・見学者同士が密にならないように各自配慮
④1 階競技会場では携帯電話はマナーモードにして、通話はお控えください。
⑤会場床面保護のため、ピンヒール等はご遠慮ください。
⑥床面養生部分以外は会場に用意されているスリッパまたは靴カバーをご利用ください。



選手休憩室のご案内

①2階大研修室に選手休憩室を用意していますので、ご自由にご利用ください。

②2階へは会場に用意されているスリッパまたは靴カバーをご利用ください。



INFORMATION

電気工事士技能競技大会会場へのアクセス

会　場　東京武道館

場　所　東京都足立区綾瀬3-20-1

電　話　090-3080-6878（大会当日のみ、協会携帯電話）

- 東京メトロ千代田線 綾瀬駅下車 徒歩5分
- お車でのご来場は避けて、公共交通機関をご利用くださるようお願いいたします。